

主な出来事

EVENT

2022年7～9月

	三重・愛知	全国・海外
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●桑名市は、発生するCO₂を実質ゼロとみなす「カーボンニュートラルな都市ガス」の供給を受けることで東邦ガスと合意。東海3県の自治体では初。(7/4) ●伊賀鉄道(伊賀市)は、伊賀線の全線開通から100周年を迎えることを記念した「伊賀線まつり2022」を上野市駅周辺で開催。(7/17) ●国内最大規模の国際芸術祭の一つである「あいち2022」が愛知芸術文化センターで開幕。国内外から多数のアーティストが参加。(7/30～10/10) 	<ul style="list-style-type: none"> ●KDDI (au)で携帯電話の音声通話やデータ通信が利用しづらくなる通信障害が発生。緊急通報や気象データ配信、ATMなど広範囲に影響。(7/2) ●安倍晋三元首相が奈良市の近鉄大和西大寺駅前で参議院選挙の街頭演説中に銃撃され死去。首相経験者が殺害されるのは戦後初の悲劇。(7/8) ●第26回参議院議員通常選挙の投開票が行われ、自民党が改選55議席を大幅に増やし、単独で改選過半数の63議席を確保。(7/10)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●四日市港のカーボンニュートラルを考える協議会の初会合開催。今年度中に「カーボンニュートラルレポート形成計画」の策定を目指す。(8/3) ●「リア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会」の総会が名古屋市で開催。名古屋駅の「スーパーターミナル化」への国の支援要請など決議。(8/3) ●トレーラー型のグランピングを楽しめる複合型キャンプリゾート施設「FREE AND EASY CAMP RESORT」が菟野町にオープン。(8/10) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウクライナに侵攻したロシアによる黒海封鎖で、海外輸出が停滞していたウクライナの穀物輸出が5か月ぶりに再開。(8/1) ●米下院議長としては、25年ぶりに台湾を往訪したペロシ氏は蔡英文総統と会談を行い、台湾統一圧力を強める中国へのけん制姿勢を強調。(8/3) ●第2次岸田改造内閣が発足。岸田文雄首相は、年末に向けた最重要課題として防衛力の抜本強化などを明示。(8/10)
フォーカス 9月	<ul style="list-style-type: none"> ●三十三銀行(四日市市)は、社内からの業務関連の問い合わせに、人工知能が自動応答する社内向けシステム「AIチャットボット」を導入。(9/1) ●南伊勢町は、漁業の担い手育成事業「TRITON PROJECT」を始動。主に町外から人材を受け入れて漁師として育成し、持続可能な漁業・水産業を推進。(9/1) ●名古屋市は、性的少数者などの人権保障を目的に、同性のカップルなどを公的に認める「ファミリーシップ制度」を11月に導入することを表明。(9/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ●英国のエリザベス女王が96歳で死去。2022年2月に即位70周年を迎え、在任期間は英国史上最長。長男のチャールズ皇太子が国王に即位。(9/8) ●日本政府、日銀は急激な円安進行を阻止するため為替介入を実施。円買い介入は1998年6月以来、約24年3か月ぶり。(9/22) ●安倍晋三元首相の国葬が東京・日本武道館で執り行われ、210を超える国と地域、国際機関の代表団を含め、国内外から4,183人が参列。(9/27)

2022年10～12月の予定

	三重・愛知	全国・海外
10月 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント「[三重県]×[デジタルの日]2022」～ふれよう!#デジタルのチカラ～が津市で開催。デジタルについて楽しく学べる催し等を実施。(10/2～3) ●「ジブリパーク」が愛・地球博記念公園に開園。第一期として「ジブリの大倉庫」など計3つのエリア(計3.4ヘクタール)が先行オープン。(11/1) ●三重県内唯一のフルマラソン大会「みえ松阪マラソン」が松阪市で開催。新型コロナの影響で3年ぶりに開催予定。フルマラソンの実施は今回が初。(12/18) 	<ul style="list-style-type: none"> ●改正育児・介護休業法の施行により、男性も子どもが生まれた後に休暇を取りやすくする「出生時育児休業(産後パパ育休)」開始。(10/1) ●5年に1度の最重要会議、第20回中国共産党全国代表大会が北京市で開催。習近平党総書記の長期政権を支える最高指導部人事の布陣に注目。(10/16) ●米国中間選挙。任期6年の上院(定数100)は約1/3、任期2年の下院(定数435)は全員が改選対象。州知事は、50州のうち36州が改選。(11/8)

フォーカス

南伊勢町が漁業の担い手育成事業「TRITON PROJECT」を始動

三重県下の一の水揚げ高を誇る南伊勢町は、三重外湾漁業協同組合、漁業の担い手育成に実績のある一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン(宮城県)、ITベンチャー企業の株式会社ライトハウス(福岡県)と連携して、漁業の担い手育成事業「TRITON PROJECT」を始動しました。

水産業を発展させ、南伊勢町の定住人口を増やすことが目的であり、主に町外から人材を受け入れて漁師として育成し、貴重な水産資源を次世代へつなぐことで、持続可能な漁業・水産業を目指します。

南伊勢町の上村久仁町長は「基幹産業である水産業の発展なくして町の発展はない。この事業で、子どもたちに継がせたい産業へと変えていく」と抱負を述べました。